

司法試験委員会会議（第124回）議事要旨

（司法試験委員会庶務担当）

1 日時

平成28年6月8日（水）14:10～15:05

2 場所

法務省第一会議室

3 出席者

○ 司法試験委員会

（委員長）山口 厚

（委員）秋葉康弘，稲川龍也，古口 章，大沢陽一郎，羽間京子，長谷部由起子（敬称略）

○ 司法試験委員会庶務担当（法務省大臣官房人事課）

伊藤栄二人事課長，丸山嘉代官房付，是木 誠試験管理官，森山智文人事課付

4 議題

- (1) 平成28年司法試験予備試験短答式試験及落の決定について（協議）
- (2) 司法試験出題内容漏えい事案について（報告・協議）
- (3) 次回開催日程等について（説明）

5 議事等

- (1) 平成28年司法試験予備試験短答式試験及落の決定について（協議）

○ 平成28年司法試験予備試験短答式試験について，司法試験予備試験考査委員会議の判定に基づき，合計得点165点以上の2，426人を合格者とすることが決定された。

○ 事務局から，平成28年司法試験予備試験短答式試験一般教養科目において，第31問に出題の誤りがあったこと，及び，司法試験予備試験考査委員会議においては，一般教養科目第31問を選択した者については全て同問につき正答として取り扱うこととされたことが報告され，協議の結果，法務省ホームページにおいて公表した上，再発防止を徹底することとされた。

- (2) 司法試験出題内容漏えい事案について（報告・協議）

（◎委員長，□委員，■事務局）

■ 本年3月29日の司法試験委員会において，「司法試験出題内容漏えい問題に関する原因究明・再発防止ワーキングチーム」座長より，これまでの検討状況及び指摘すべき問題点について報告があったところである。その後のワーキングチームにおける調査・検討の状況について報告する。まず，法科大学院協会における再発防止策に関する検討状況について，法科大学院協会関係者からヒアリングを行い，法科大学院協会において検討を進めている，漏えいの再発防止策についての説明を受けた。

また，平成28年司法試験の問題作成状況について考査委員からヒアリングを実施しているところであり，既に複数の各科目担当の考査委員から聴取を行っている。

- 法科大学院協会としては、会員校である各法科大学院に特定の再発防止策を強制することができないという状況の下、再発防止策の検討を進めているという事情は理解した。
- 漏えいの再発防止が最優先であるが、同時に、今後も引き続き質の高い問題を作ることができるようにするための議論も行っていく必要がある。
- ワーキングチームにおいては、今後も引き続き、平成29年司法試験に向けた議論を迅速に進めていく予定であり、随時、当委員会にも報告させていただく。

(3) 次回開催日程等について（説明）

- 次回の司法試験委員会は、平成28年7月下旬から8月上旬に開催することが確認された。
(以上)